

第 1 回 岬 町 総 合 教 育 会 議

令和 6 年 2 月 1 5 日 (木)

第 1 回 岬 町 総 合 教 育 会 議

日 時 令和6年2月15日（木）午後1時00分開会—午後2時30分

場 所 役場3F 第二委員会室

出席委員 古橋教育長、宮川教育委員、奥野教育委員、中口教育委員、
出射教育委員、鳥居教育委員

出席理事者 田代町長、小川教育次長、岩田教育委員会事務局理事兼生涯学習課長、
松井教育委員会事務局副理事兼学校教育課長、保田指導課長、中西指導課参事、
川端まちづくり戦略室長、寺田企画政策推進監、岡田企画地方創生担当課長、
幸地企画地方創生担当主幹、多田企画地方創生担当係長

案 件

- (1) 幼小中の連携教育について
- (2) その他

配付資料

- (1) 令和5年度総合教育会議
(幼小中の連携教育について)

(午後1時00分 開会)

司会： これより令和5年度第1回岬町総合教育会議を開会させていただきます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、岬町まちづくり戦略室 企画地方創生担当課長の岡田でございます。よろしくお願ひいたします。

はじめに配布資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第でございます。

次に、令和5年度総合教育会議

(幼小中の連携教育について)

以上2点でございます。

不足等ございませんでしょうか。

司会： それでは、初めに、町長よりあいさつを申し上げます。

田代町長： 《 あいさつ省略 》

岡田企画地方創生担当課長： ありがとうございます。

次に、古橋教育長より御挨拶をお願いしたいと思います。

古橋教育長： 《 あいさつ省略 》

岡田企画地方創生担当課長： ありがとうございます。

本総合教育会議については、岬町総合教育会議設置要綱の規定により、町長が招集し、総合教育会議の議長となることとなっております。以降の会議の進行につきましては議長の田代町長にお願いをいたします。

それでは、田代町長、よろしくお願ひいたします。

議長： それでは、会議を進めてまいります。

案件に入る前に会議の公開について、確認します。

会議については、要綱第6条の規定に基づき、個人の秘密を保つため必要があると認めるとき、その他公益上必要があると認めるとき以外は、公開となります。

本日の案件については、一部、非公開とする案件がございます。

非公開部分については、傍聴者の入室は認めませんので退室いただくこととなります。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

事務局に確認いたします。

本日の傍聴希望の状況について報告をお願いいたします。

岡田企画地方創生担当課長：本日、傍聴の申し込みが行われておりますので、これ以降の会議について傍聴者に入室いただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者 入室)

議長、会議の進行をお願いいたします。

議長： それでは、会議を進めさせていただきます。

幼稚園、小中学校の連携教育について事務局からの説明をお願いします。

保田指導課長： 《 スライドを使つての説明省略 》

議長： ありがとうございます。只今の事務局の説明に対し、ご意見、ご感想はございませんでしょうか。

委員： 岬町は見守り活動が継続していきまして、淡輪・深日・多奈川と見守り活動をしてくれる人がたくさん居ています。8日にも学校を周らせていただいて、「ああこんなにもたくさんの方が見守ってくれてるんや」と感じました。そのおかげなのか、子どもが「おはようございます。」と挨拶ができる。それで顔見知りになり、帰りに会ったら「さようなら」「こんにちは」と。よそはなかなかそれが定着しにくいです。長いことやってるおかげです。うちの地区の方々は生きがいやとまで言ってくれるのでありがたいなと思います。

多奈川と深日では芝生で、子どもたちが保育所の子どもと一緒に遊んでいる。それが当たり前というか、和気あいあいとしてくれるのが嬉しいというか、素晴らしいことで、これって大事なことだと思います。子どもの小1ギャップが無くなる、小学校に行くのが普通になるという、そのようなことが起こっているのではないかと思います。合同授業も見させていただくと、深日と多奈川と、お互いに刺激し合うんですね。意見を多奈川が言うと深日が言う、深日が言うと多奈川が言い、お互いに負けないと。そういったことが起こっているので、見させてもらうとなかなか良いことだなと感じました。これをどれだけカリキュラムで考えてやっていくのか、教育委員会と行政と学校と相談していろんなことをやっていかなあかんのではないかと思います。この前もちょっと各学校を周らせてもらって、校長先生におつきな柱をつくってそれからいろいろなことを考えて学期ごとにやって、そして反省しながらやっていくようなことをしてくれますか。と言うと、考えています。と。

多奈川は特に25年で人数が30人になるので、先生に新しいカリキュラムを考えていろいろして下さいねというわかりましたと言ってくれたので、楽しみにしているところ

ろです。

議長： ありがとうございます。他にありませんか。

委員： 先ほどから、岬町の子どもは挨拶をするというお話も出ていたと思うんですけど、うちの子も二十歳を過ぎて、子どもの友達も二十歳を過ぎているんですけど、大きくなって会えば必ず挨拶してくれますし、見かけたら声をかけてくれる。これは岬町の子どもだからこうなんだよねと主人と話をしたりもするので、本当に岬町の子ども達は素直に育っていて、いい子たちが多い印象があります。それはやはり、幼稚園・小学校とか小さい時から学校の先生方に関わった中で良い教育を受けさせてもらったなと感じることが多いです。こういった幼稚園同士とか小学校のそれぞれが交流し合って、今子ども達も少ない中で刺激し合って成長していけるのはすごく良いことだなと感じているので、このままこれを続けてほしいなと思います。また、それに合わせて先生方の交流や、地域の方たちや、家庭と学校、家庭と地域の人たちとか、岬町全体で連携して子ども達を育てていけるように、教育委員である私も含めて、家庭の人達も幼児教育はこれだけ必要なんだとわかっていない人、学校に任せているという人達もいると思うので、こういうことを発信して自分達も一緒に育てていける連携教育が出来ていたらいいのではないかなと感じています。

議長： ありがとうございます。他にございますか。

委員： 子どもにとっての安全基地を大人が作るという部分で大変共鳴したんですけども、芽生える・整える・関わるというような見えにくい部分でのことが苦手な子どもが増えていくということを実感しているところであります。ですのでやはり、地域の大人が学校に出向いて行って、みんなで子どもを育てるという機会を持っていただきたいです。私も含めてですが、研修もそうですけども学校の力になっていきたいなと思っているところであります。

議長： ありがとうございます。他にございますか。

委員： 目標設定というところで、新しいカリキュラムを考えておられるという話をお伺いしましたけれども、具体的にどのようなことをされるのかということをお伺いすることが大事かなという風に聞かせていただいていたいました。やはり自分の子は自分で勝手にわかるのですが、よその学校や幼稚園で何を目標にしてそこに到達したらいいのか、到達出来なかったら出来ないで、何がどのような方法で出来るようになるのか、というようなことを同じ目線で考えられる岬町の教育行政っていうのが大事じゃないかなと。目標

設定はやっぱり大事なので、それを共有しながらお互いに作り上げていける環境っていうのが大事かなど。特に授業参観の場でそういうことを共有できたりとか、参観の機会とかも多く持って、地域との関わりが増えていくのが大事かなという風に聞かせていただきました。

議長： 委員の質問に対して、事務局お願いします。

保田指導課長：キャリア教育であつたりとか、学習の部分で9年間の紙ベースのような、この時期に何をするかっていうのは、実際描いているところもあるし、実際それを活用しているところもあるんですけども、その検証する部分であつたりとか、1回作ってしまうと、ずっと同じようなことにもなつたりしているので、そこは見直しということも必要かなと思っています。また、部分的には作っているけれども、9年間、幼稚園をいれると12年になってきますので、非認知能力はまだ組み込まれていないというところなんです。実際にどんなことをするのかという計画段階で終わってしまっているんで、目に見えない子ども達の非認知能力をどこに入れていくのかというのが今後の作業であると思っています。

議長： ありがとうございます。他にございませんか。

委員： この前行かせてもらった各小学校と幼稚園と保育所も含めて、先生方が一番望んでいるのは、学校園とかとにかく来てくださいと。参観日などの行事で入ってきてくれるのとは別で、普段から地域の方とかに学校に入ってきてほしいけど、敷居が高いのか。来てくれたらいろんなことの話ができるし、コミュニケーションも生まれると言う先生も多いです。

その辺がPTAさんや地域の方に呼び掛ける、いろんな安全活動をしてくれるんですけども、学校にも行って、こんなことをやろうかなど話をしてほしいと。学校も、地域として考えていきたいというようなことを先生が言われたんで、アクションを起こしたらどうですか。と話したのですが、その時はまた力を貸してください、皆さんで考えましょうよとのことだった。学校は待っているみたいですよ。

議長： 共有を図る意味で、学校の方にも保護者の皆様、また関係者の皆様に来て欲しいというご意見を申し上げているけれどなかなか来ていただけないというようなことがあるようですから、それについてももしよろしければお答えしていただけるとありがたいです。

現在取り組んでいることでも結構です。

保田指導課長：各学校に特徴があります。来月3月2日に多奈川小学校の学校の先生と地域の方が、

地域コミュニティの報告会を大阪府で行います。そのように、地域の人と子ども達が土台となり育んでいる地域もあれば、まだ入りにくいという地域もあると思われます。子ども達はいろんな方々に学校に来てもらえると、自信にもなると思われるので、今年から教育コミュニティのコミュニティスクールというのも立ち上がったところですので、こちらとしても、地域の人たちと一緒に何ができるのかというところを今後考えていきたいなと思っています。

多奈川小学校の地域ぐるみの活動というのがひとつの事例かなと思いますので、各学校の特徴として自分達にもできる地域との関わり方を探していけたらと思います。小学校は150周年で地域の方と関わるというきっかけが出来ましたので、この機会を逃さずに進めていき、中学校は町に1校しかない学校ですので、地域人材を協力しながら活用して、子ども達のために活動できたらと思います。

議長： ありがとうございます。他にございませんか。

委員： 学校教育は非常に難しくなっていると思うんですが、僕が現役の時は一斉指導で詰め込みすぎで、そういう反省があつてゆとり教育が全国で一斉に始まった。それが数年たって、脱ゆとり教育となり大きく教育が様変わりしている。先生は本当に今大変だなと。また、学校の先生を経験したベテランは一斉教育であり、若手の先生はゆとり教育であり、今脱ゆとり教育を大学で勉強してきたという人はほとんど居ていないと思う。ですから、試行錯誤の中でどのような手立てでやっていけばいいのかというのが非常に難しい現実であると思われる。その中でこの一年を通して、教育委員として各学校を見学させてもらいました。各学校の特徴を活かしながら学校運営をされているなというのが正直なところ。その中で個々の生徒を見ながら全体を見るということを管理職の先生を中心に頑張っていると思いました。ただ、本を読むと「僕はここしきません」と言ったらその子の意志だからそれ以上をさせないと書いていた。それについては殻を破ってはどうかと、自分で限界を決めるのではなくもう一步踏み込んだらちょっと違う人間性が生まれるのではないかなと思う。目標設定を考えてその目標達成のためにどういう段階を踏んで、目標を達成したらこうなる、と。小・中の児童生徒に適応して、うまく能力の開発が出来たらいいなと。カナダの大学での研究でも、目標設定をした方がぐっと伸びたらしいです。そういったこともこれからの先生方のノウハウとして必要ではないかと感じます。

議長： ありがとうございます。先生方の子どもの教育に対する考え方が大きく変わってきてい

ることは事実であると思いますので、先生方も教育委員会の方で新しいカリキュラムを作った際に、指導方法を教えていただけるとありがたいです。

委員の方の意見をお聞きしました。他の委員のみなさまのご意見をお聞きしたいと思うのですがいかかでしょうか。

ご意見はないようですので、事務局から今後のスケジュールについて説明をお願いしたいと思います。事務局どうぞ。

事務局： 今後のスケジュールでございますが、今後は、岬町総合教育会議設置要綱で規定する協議事項がでてきましたら、会議を開催することとなります。

協議事項としては、予算措置を伴う、重要な教育施策の方向性の協議や児童、生徒等の生命・身体に被害が生じ、そのおそれがあると見込まれるなど緊急事態への対処の事項等がございます。

現時点では次回開催について、今年度は予定しておりませんが、協議すべき事項があるときは、適宜会議を開催したいと考えております。

また、本日の会議の議事録につきましては、公開することとなります。議事録ができ次第、委員の皆さまにもご確認をいただきますのでよろしくお願いいたします。

議長： ありがとうございます。

スケジュールの件についての説明ありましたけど、何かございませんか。

ありがとうございます。

本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

今後は「総合教育会議」の中で、皆さま方からのご意見・提言を踏まえて、施策の展開を図っていくこととしております。

これをもちまして、令和5年度第1回岬町総合教育会議を閉会させていただきます。

委員の皆さまには、慎重審議を賜り、誠にありがとうございました。

(午後 2時30分 閉会)